

News Letter

2020年

9月

中国四国農政局
山口県拠点

おもいっきり肉を食べちゃろう！！ 「鹿野高原豚」 ～有限会社鹿野ファーム～

山口県周南市鹿野で、原種豚飼育、種豚生産販売、肉豚生産販売、黒毛和牛飼育、一貫生産肉牛販売、食肉加工品製造販売を手掛け、近代的養豚事業を中核とした総合農場作りを目指す、山口県内でも有数の畜産団体である「有限会社鹿野ファーム（以下、鹿野ファーム）」をご紹介します。



こだわりのハム・ソーセージの数々

◇「ヨーロッパで出会った感動を伝えたい」

鹿野ファームでは、創業者である佐武克也氏が、ヨーロッパでの現地視察の中で出会ったハム・ソーセージに感銘を受けたことから、ハム作りへの挑戦を始め、数えきれない失敗と試行錯誤の末、ようやくヨーロッパで出会ったハムが完成。

平成元年に食肉加工部門を創設し、精肉やハム・ソーセージなどの加工品は、山口県内の消費者に支持され、ほぼ全量が山口県内で消費されています。

平成26年には、消費者の需要に応えるため、ハイポーハム工房を設立し、種類の増加と供給量の拡大をしています。



驚きの「はみでるハムサンド」

◇「もっと身近に！もっと手軽に！ビストロ鹿野農場」

平成26年、「道の駅ソレーネ周南（山口県周南市）」の開業に合わせ、もっと身近に、且つ手軽に鹿野ファームの自慢の一品を味わっていただけるよう、同施設内に直営店「ビストロ鹿野農場」をオープンさせました。

施設内では、「鹿野高原豚」「鹿野高原牛」、ハム・ソーセージ、丼物などが、所せましと並べられています。

屋外のショップでは、こだわりのハム・ソーセージが「たっぷり」使用されたハンバーガー、ハムサンド、ホットドッグなどをテイクアウトでき、来場者の好評を得ています。

◇「山口県産の豚肉を美味しさを全国に！」

平成29年には農林水産省の畜産クラスター事業を活用し、畜舎などを増設し、生産頭数は、これまでの2倍近くに拡大しており、代表を務める隅明憲氏は、「2017年からグループ企業の（有）三原ファームと豚の増頭に取り組み、母豚の規模を合算2,100頭へ拡大しました。今後も魅力有る商品開発を継続しつつ、県外への販路拡大の努力も行い、山口県産の豚肉の美味しさを全国の皆さんに知って頂きたいと考えています。」としています。

鹿野高原豚（ハイポー豚）とは？

鹿野ファームで生産しているハイブリッドポーク「四元豚」は、一般に出回っている豚肉の大部分を占める「三元交配豚」に比べ、交雑の次元が高く、肉質にばらつきが無く、常に安定した品質の豚肉になるのが特徴です。

また、デリケートな豚にとって大敵であるストレスの軽減を図るため、快適な環境の中で飼育を行うことで、更に品質を向上させています。

【協力、写真提供】

有限会社鹿野ファーム
山口県周南市

大字巢山清涼寺1950

TEL：0834-68-3617

HP：<http://www.kanofarm.com/>

「令和2年秋の農作業安全確認運動」が始まりました！

安全対策

見直そう！

◆農作業による死亡事故は年間約300件発生しています。

農業機械作業の

☑ 日常的にチェックする習慣をつけましょう。

令和2年「農作業安全ポスターデザインコンテスト」
農林水産大臣賞 北海道 伊藤沙智 さん

近年、農業就業人口が減少する中、農作業死亡事故者数は年間300人前後で推移している状況であることから、事故件数を減少させることが喫緊の課題となっており、農作業事故防止に向けた対策の強化を図る必要があります。

このため、春作業が行われる3月～5月を春の農作業安全運動、秋作業が行われる9、10月を重点期間として、全国の関係機関の協力の下、以下の期間、秋の農作業安全確認運動を実施しています。

実施期間

令和2年9月1日（火曜日）

～

令和2年10月31日（土曜日）

重点推進テーマ

「見直そう！農業機械作業の安全対策」

農林水産省HP「農作業安全対策」ページ

また、農作業事故、死亡事故を無くすため、ホームページでも「農作業安全対策」のページを設けており、各種資料や動画などを公開しております。

農作業事故の実情を知っていただき、農作業安全対策を自らの営農活動に取り入れていただきますようお願いいたします。

農林水産省HPリンク

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html

農作業死傷事故の発生状況（全国値：令和2年6月～8月）

	令和2年	6月	7月	8月
農作業死傷事故		33	24	60
農業機械作業に係る死傷事故		27	16	34
うち乗用型トラクター		7	6	14
うち歩行型トラクター			4	4
田植機		5		
コンバイン		2		
農用運搬車		2		
動力防除機		2		
動力刈払機			2	
農用運搬車ほか				5
その他の死傷事故		6	8	26
うち熱中症				2
水路・川への転落		3	2	
ほか		3	4	7

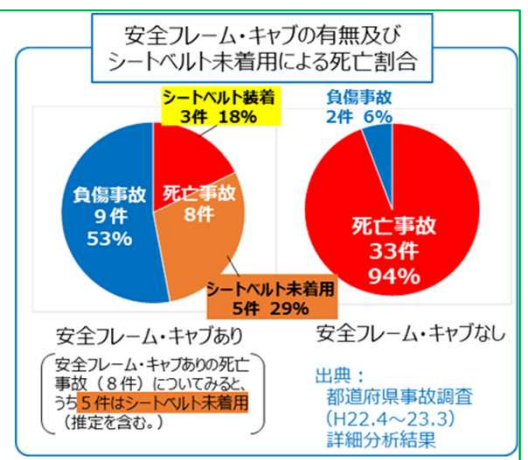
令和2年8月には、乗用型トラクターの事故が14件のうち転落・転倒で4人の尊い命が失われています。

乗用型トラクターの転落・転倒事故の死亡率について、安全フレーム・キャブがない場合は9割以上。

安全フレーム・キャブが備わっており、シートベルトを締めている場合には2割以下というデータもあります。

農林水産省HPリンク

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/jikojo.html



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 山口県拠点

〒753-0088 山口市中河原町6-16

TEL (083)922-5404 FAX(083)934-1120 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>